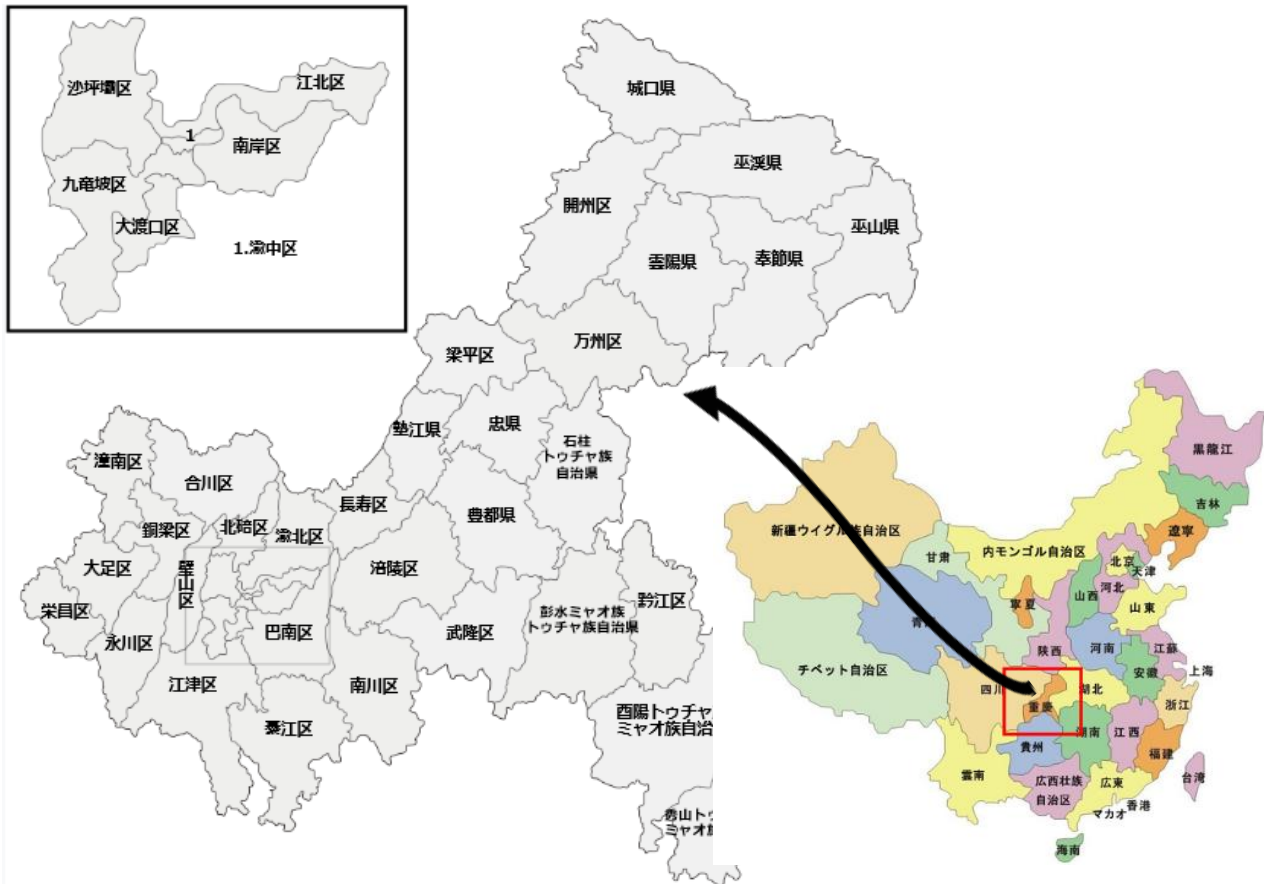


## 重慶市概況

2025年11月現在



### 1. 沿革等

- 1891年長江沿岸の港湾として対外開放され、1929年重慶市政府が成立。
- 1895年、清帝国は日清戦争に負け、同年4月に締結した「下関条約」の規定によって、重慶は内陸の貿易港として開放された。同時に、イギリスとフランスがそれぞれ重慶に領事館区を設置した。
- 1938年12月18日から1943年8月23日にかけて、日本軍は重慶に対し断続的に無差別爆撃を敢行し（重慶爆撃）、民間人にも多数の死者が出た。うち防空壕内の混乱もあり、多数の犠牲者を出した6月5日を記念日とし、毎年6月5日にはサイレンを鳴らし慰霊式を開催している。
- 四川盆地の東南、中国一の大河長江の上流部に位置し、温暖湿潤気候。
- 地形の関係で霧が発生しやすいことや、傾斜地に開けた街であることから、別名「霧都」「山城」等と呼ばれる。
- 1949年11月30日、中国人民解放軍は重慶に入り、その後、重慶市は中華人民共和国の直轄市となった。1954年7月、重慶市は直轄市から地方都市と変更され、

再び四川省に併入された。

- 1997年3月14日、第8期の全国人民代表大会の第5回の会議で、もと四川省重慶市・万縣市・涪陵市・黔江地区を合併し重慶直轄市を設立する議案が可決され、6月18日に設立された。
- 近年は中国政府が推し進める「一帯一路」構想において、重慶を拠点に、欧州やASEANをつなぐ新たな物流網が急速に整備されている。
- 中国と欧州を結ぶ貨物鉄道「中欧班列」が、2011年に重慶とドイツ・デュースブルク間で運行を開始。（現在は重慶に加え、成都や西安、鄭州、武漢など、そのルートを大きく拡大している）「中欧班列」が開通したことで、中国から欧州へのリードタイムは大幅に縮減された。

## 2. 2024年主要基本指標

---

- 略称：渝 Yu
- 天候：亜熱帯地域に属し、非常に蒸し暑く、年間平均気温は18℃。1月の平均気温は8℃、7月の平均気温は29℃ぐらい。盆地であるが故に夏は酷暑となり7月の平均気温は28.3度に達し、湿度も高く非常に蒸し暑く不快指数は非常に高く、日中は猛暑日となり、最低気温が30度を下回らないことも珍しくない。いずれも長江流域の武漢、南京と並んで「三大火炉（三大かまど）」と呼ばれている。冬季の1月の平均気温は7.9度、平均最低気温は6.2度と内陸盆地に所在するにもかかわらず、かなり温暖である。これは秦嶺山脈が北からの寒気を遮ることと、日照時間が少なく常に曇っているため、放射冷却が少ないからである。年中曇りや雨の日が多く、中国で最も日照時間が少ない都市のひとつである。
- 中国にある4つの直轄市（北京市・天津市・上海市・重慶市）のうちのひとつ
- 面積：8.24万km<sup>2</sup>、37区県（25区、8県、4自治県）
- 常住人口：3,190.47万人（年末常住人口）  
うち都市部の人口は2,301.49万人（全体の72.1%）、  
農村人口は 888.98万人
- 出生率：5.99‰、死亡率8.87‰、人口自然増加率：▲2.88‰
- 域内総生産（GRP）：3兆2,193.15億元（前年比5.7%増）
- 1人当たり GRP：10万903元（前年比6.0%増）
- 第一次産業：2,135.82億元（前年比2.4%増）
- 第二次産業：1兆1,690.68億元（前年比4.6%増）
- 第三次産業：1兆8,366.65億元（前年比6.8%増）
- 農業生産額：2,116.30億元（前年比4.4%増）
- 林業生産額：205.73億元（前年比7.2%増）
- 畜産生産額：761.33億元（前年比▲4.0%）
- 漁業生産額：148.16億元（前年比3.8%増）

### 3. 主要開発区など

---

#### 国家級開発新区

- 重慶・両江新区 (<https://www.ljq.gov.cn/zjlj/>)
  - ✓ 国務院の承認を得て 2010 年に設立された行政区。長江と嘉陵江の合流地点に位置する国家級開発開放区でもある。1,731 社の外国企業が登記。
  - ✓ 強固な産業基盤を誇り、4,000 億人民元規模のインテリジェントコネクテッド新エネルギー車産業、3,000 億人民元規模の次世代電子情報製造産業、2,000 億人民元規模のソフトウェア・情報サービス産業を育成。
  - ✓ 新エネルギー車生産は重慶市全体の 75%、電子情報生産は 35%、ソフトウェア・情報サービス産業と金融産業は市全体の 40%を占める。
  - ✓ 低高度経済やライフサイエンスなどの新産業も成長の勢いを増しており、長安汽車、Seres、BOE、OPPO、Transsion、Haier などの大手企業が進出。
  - ✓ 中国で唯一「水港＋空港」機能を兼ね備えた総合保税区と、中国西部で唯一の港湾型国家物流拠点である果園港を有する。近代的な陸海複合型マルチモーダル輸送システムは年間 4,000 万トン以上の貨物を取り扱う。江北国際空港と重慶北駅は年間 1 億 2,000 万人以上の旅客を輸送。外資利用額と越境人民元決済は市全体の 40%以上を占める。

#### 自由貿易試験区

- 中国（重慶）自由貿易試験区両江新区片区
  - ✓ 計画用地面積は 86.33 km<sup>2</sup>で、全市の 71.95%を占める。
  - ✓ 「一帯一路」構想と長江経済ベルトに基づき、戦略的新興サービス産業や戦略的新興製造産業の集積地（2つのゾーン）に加え、内陸機能金融センター、科学技術イノベーション実証センター、国際物流センター、国際貿易センター、生産サービス産業センター（5つのセンター）の構築を目指す。
- 中国・シンガポール（重慶）戦略性互聯互通示範プロジェクト
  - ✓ 2015 年に政府レベルで合意した、金融サービス、航空、運輸、ロジスティクス及び通信技術（ICT）など 5 分野での協力を推進するプロジェクト
  - ✓ プロジェクトの一環である「南方回廊」は、現在では重慶市をハブとして中国西部から ASEAN 諸国への物流を拡大する新輸送網として機能している

#### 国家級開発区

- 重慶ハイテク産業開発区 (<https://gxq.cq.gov.cn/>)
  - ✓ 1991 年に国務院の承認を得て設立された、最初の 27 の国家ハイテク産業開発区の 1 つ。2024 年における重慶ハイテク産業開発区の GRP は、前年比 7.4%増の 831 億 3,200 万元。

- ✓ 計画区域は 1,198 km<sup>2</sup>で、重慶ハイテク区、沙坪壩区、九龍坡区、北碚区、江津区、碧山区の 5 つの行政区から構成されている。
  - ✓ 主として電子情報、バイオ医薬、新材料、人工知能等の分野に取り組む
- 重慶経済技術開発区 (<https://jqj.cq.gov.cn/tzjk/ljjk/>)
    - ✓ 1993 年に国務院の承認を得て設立。中国西部地区で最初に設立された国家級経済技術開発区。
    - ✓ 2024 年の同区 GRP は前年比 6.8% 増の 654 億元。
    - ✓ インテリジェント製造、ソフトウェア情報サービス、ビッグヘルスという 3 つの主要産業、および省エネルギー環境保護、自動車エレクトロニクスなどの特色ある産業の開発に重点を置く。
    - ✓ クアルコム、ネットイース、アリババ、JD.com などのフォーチュン 500 企業を誘致。
  - 璧山ハイテク産業開発区  
スマート設備、情報技術、ライフヘルス産業を推進
  - 永川ハイテク産業開発区  
2017 年、国家工業ハイテク産業化基地に認定
  - 榮昌ハイテク産業開発区  
中国（重慶）眼鏡産業園を設立
  - 万州経済技術開発区  
([https://www.wz.gov.cn/jkq/wzjkq/jggk/202403/t20240312\\_13031051.html](https://www.wz.gov.cn/jkq/wzjkq/jggk/202403/t20240312_13031051.html))
    - ✓ 計画用地面積 69.56 km<sup>2</sup>
    - ✓ 2024 年における規模以上工業生産額は前年比 13.4% 増の 625 億 2,000 万元
    - ✓ 現在 600 社以上の企業が入居。うち、131 社が工業企業
    - ✓ 先端材料、インテリジェント機器・インテリジェント製造、医薬品・化学品という 3 つの主要産業の拡大・強化、食品・農産物加工と新エネルギーという 2 つの特色ある産業の高度化の加速、最先端新素材、バイオ製造、水素エネルギー・新エネルギー貯蔵という 3 つの新興産業の革新的な開発、そして低高度経済、没入型技術、人工知能という 3 つの未来産業の育成・拡大に取り組む。
  - 長寿経済技術開発区 ([https://www.cqcs.gov.cn/jkq/csjkq/jkqgk/jgjj\\_75380/](https://www.cqcs.gov.cn/jkq/csjkq/jkqgk/jgjj_75380/))
    - ✓ 2010 年に国務院の承認を得て設立された国家級経済技術開発区であり。管理・サービス対象面積は 129 km<sup>2</sup>、累計開発面積は 50 km<sup>2</sup>に達し、957 社が入居。そのうち、フォーチュン・グローバル 500 企業は 29 社、多国籍企業は 70 社、上場企業は 70 社。
    - ✓ 2025 年には、規模以上工業総生産額が 1,668 億元、固定資産投資額が 217 億元、工業投資額が 168 億元、貿易輸出入額が 91 億元、実質利用外資額が 2,171 万米ドルを達成。
    - ✓ 天然ガス化学・新素材および先進金属材料という 2 大主力産業クラスターの構築に注力し、スマートコネクテッドカー部品、新エネルギー材料、グリーンヘルスケアという 3 大基幹産業クラスターの高度化と拡大を図り、設備・スマート製造およびシ

リコン系新素材という2大特色産業クラスターの革新的な発展を推進するとともに、合成生物学、繊維・複合材料、水素エネルギー・新型エネルギー貯蔵、ビッグデータ・応用という4つの新興産業を育成・発展させる。

その他

- 重慶両路果園港総合保税區

([http://www.ccfta.com/content/2026-03/13/content\\_10000044.htm](http://www.ccfta.com/content/2026-03/13/content_10000044.htm))

空港機能区



港湾機能区



- ✓ 計画面積は 64.61 km<sup>2</sup>で、港湾機能区と空港機能区の二つの部分から構成される
- ✓ 重点産業は、加工貿易・現代物流・サービス貿易
- ✓ 2025年における貿易輸出入額は前年比8.7%増の1,832億1,000万元に達し、市全体の約4分の1を占めた。

- 重慶西永微電子産業園区
- 江津総合保税區
- 涪陵総合保税區
- 團結村鉄道保税物流センター（B型）
- 南彭道路保税物流センター（B型）
- 重慶果園港保税物流センター（B型）
- 検査・実験・検疫総合改革試験区

4. 主な指導者

➤ 袁家軍（えんかぐん）書記

生年月：1962年9月（63歳）

出身地：吉林省通化市

最終学歴：北京航空航天大学

民族：漢族

主な職歴：

2003-2007年 中国航天科技集団第五院院長、党委員会副書記（神舟2号～5号宇宙船シス

テム最高指揮官

2007-2012年	中国航天科技集団副総経理、党組メンバー
2012-2013年	寧夏回族自治区党委員会常務委員、寧東能源化工基地党工委書記
2013-2014年	寧夏回族自治区党委員会常務委員、自治区政府常務副主席、自治区政府党組副書記、寧東能源化工基地党工委書記
2014年	浙江省党委常務委員、副省长候補
2014-2016年	浙江省党委常務委員、副省长、省政府党組副書記、浙江省行政学院院长、省委政法委副書記
2016-2017年	浙江省党委副書記、省委政法委副書記
2017年	浙江省党委副書記、代理省长、省政府党組書記、省委政法委書記
2017-2020年	浙江省党委副書記、省长、省政府党組書記
2020-2022年	浙江省党委書記、省人大常委主任
2022年-	党中央政治局委員、重慶市党委員会書記

※第 17 期中央候補委員、第 19 期・第 20 期中央委員、第 20 期中央政治局委員

➤ 胡衡華（ここうか）市長

生年月：1963年6月（62歳）

出身地：湖南省衡南県

最終学歴：湖南大学

民族：漢族

主な職歴：

1999-2005	湖南衡陽鋼管（集団）有限公司執行董事、総経理
2005-2008年	湖南省經濟委員会主任、党組書記
2008-2009年	湖南省益陽市党委副書記、代理市長
2009-2011年	湖南省益陽市党委副書記、市長
2011-2013年	湖南省發展・改革委員会主任、党組書記
2013-2014年	湖南省長沙市委副書記、市政府代理市長
2014-2016年	湖南省長沙市委副書記、市政府市長
2016-2017年	湖南省委常務委員、省国有資産監督管理委員会党委書記
2017-2020	湖南省委常務委員、長沙市委書記
2020-2021年	陝西省党委副書記
2021-2022年	重慶市委員会副書記、市政府副市長兼市長代行
2022年-	重慶委員会副書記、重慶市市長、党組書記

※第 19 期中央候補委員、第 20 期中央委員

## 6. 重慶市と日本

- 邦人長期滞在者数：約 231 人（2023 年 10 月現在）
- 日系企業数：約 244 社（2022 年 10 月現在）
  - いすゞ、ヤマハ、ホンダ、デンソー、パナソニック、HOYA、三井住友銀行、セブンイレブン、ローソン、ニトリ、ニコアンド、ゼンショー、スシロー、TSUTAYA 等
- 友好提携：重慶市－広島市（1986 年）
  - 重慶市－茨城県水戸市（2000 年）
  - 重慶市江津区－宮崎県都城市（1999 年）
  - 重慶市巴南区－新潟県三条市（2019 年）

## 7. 日中経済協会との交流

### 《覚書》

調印日	名称	協会調印者	中国側調印者
2009. 11. 8	財団法人日中経済協会と中国・重慶市人民政府との省エネルギー・環境分野の交流と協力の強化に関する覚書	清川佑二理事長	重慶市人民政府 王鴻拳市長

### 《訪中団》

日時	最高顧問、団長	参加人数 (地方)	地方訪問先
第 21 回 1995. 9. 17-24	最高顧問 豊田章一郎名誉会長 団長 河合良一会長	104 (30)	重慶、湖北(三 峡、武漢) 9/20-24

### 《交流実績》※2007 年以降

日時	内容
2007. 9. 24-25	南直哉（財）省エネルギーセンター会長（JC-BASE 副会長、東京電力顧問）を団長とする視察代表団（33 名）を派遣し、黄奇帆常務副市長らと会談。（重慶市経済委員会）
2008. 1-3	第 2 回フォーラム報告書の配布を受け、視察参加企業（富士電機、日揮）より、事務局に関心表明があり。特に、日揮は技術担当理事が重慶市経済委員会を訪問し、フォローアップ面談に当会上海事務所長、成都事務所代表が同行。（重慶市経済委員会） （重慶市は 2008 年 5 月の四川省大地震により、物流等支援基地となったことから、省エネ環境ビジネス推進事業は延期）
2008. 11	王鴻拳重慶市長が来日し、清川理事長から改めて省エネ・環境ビジネスプロジェクト推進の意向を表明。（対外貿易経済委員会）
2009. 1. 15-17	事務局（事業開発部部長ら）が訪中し、対外貿易経済委員会の宋暁国副主任らと面談し、事業について改めて説明。（対外貿易経済委員会）
2009. 5. 12-14	重慶市・商務部主催で行われた「第 12 回中国（重慶）国際投資グローバル調達フェア」のなかで、関心を表明した日本企業 5 社とともに「環

	境産業マッチングセッション（5月14日）」を実施。（対外貿易経済委員会）
2009. 6. 25	重慶市長寿区韓樹明区長一行が来会し、重慶（長寿）化工園區の省エネ・環境プロジェクトに関心を表明した日本企業3社と交流会を実施。（対外貿易経済委員会）
2009. 11. 5-7	南直哉（財）省エネルギーセンター会長（JC-BASE 副会長、東京電力顧問）を団長とする重慶フォーラム視察代表団（81名）を派遣し、周慕冰副市長との会見や化学・ガス、石炭、汚泥処理のテーマごとにマッチングセミナーを開催。（対外貿易経済委員会）
2010. 3. 1-10	重慶市対外貿易経済委員会の白小玲副巡視員を団長とする「重慶市省エネ環境視察代表団」（23名）が訪日。省エネグループ・環境保護グループの2グループに分派して企業視察を行い、東京と大阪でマッチングセミナーを開催。（対外貿易経済委員会）
2010. 4	黄奇帆重慶市長が来日し、当会会員企業をはじめとした日本企業トップと昼食懇談会を開催。（対外貿易経済委員会）
2010. 5	商務部・重慶市人民政府が主催する「第13回中国（重慶）国際投資グローバル調達フェア」の一環として開催された「省エネ環境保護産業プロジェクト・資金調達マッチング商談会（5月21日）」に関心ある日本企業13社24名とともに参加。（対外貿易経済委員会）
2011. 5	商務部・重慶市人民政府が主催する「第14回中国（重慶）国際投資グローバル調達フェア」の一環として開催された「緑色低炭素建築シンポジウム・商談会（5月19日）」に関心ある日本企業5社12名とともに参加。同時開催された「重慶—日本ハイレベル懇談会」には、重慶市とともにご案内した結果、40数社が参加。（対外貿易経済委員会）
2011. 9	重慶日本電機電子パークへの日本企業の誘致を目的に商委、外経貿委副主任らと来日。当会会員の電子企業を手配し、訪問。（対外貿易経済委員会）
2011. 11. 30-12. 8	重慶市江北区章曉風常務委員を団長とする「重慶市グリーン建築視察訪日団」（21名）が訪日。東京、大阪で企業視察及びセミナーを開催し、セミナーには約60名の日本企業・団体の参加があり、個別商談セッションを実施。（対外貿易経済委員会）
2011. 12	岡本理事長が重慶市を訪問し、両江新区等を視察後、白小玲対外貿易経済委員会副巡視員らと意見交換を実施。（対外貿易経済委員会）
2012. 5	商務部・重慶市人民政府が主催する「第15回中国（重慶）国際投資グローバル調達フェア」の一環として、市対外貿易経済委員会と日中経済協会が主催し開催した「日中自動車及び部品リサイクル（重慶）協力フォーラム（5月18日）」に、日本企業から延べ約60名が参加。事前に、長安汽車や中国自動車工程研究院（CAERI）の視察を行うとともに、重慶市の自動車リサイクル分野の所管である市商業委員会及びこのイベントに参加する為に重慶を訪問した吉林省廃自動車サービスセンター及び関連企業と意見交換会を実施。（対外貿易経済委員会）
2012. 9. 27	「第13回西部国際博覧会」参加訪中の視察の一環として、日中経済協会と（一財）省エネルギーセンターが主催し、重慶市政府の後援で開催する「日中低炭素社会セミナー（省エネルギーセッション・重慶）」に、日中双方100名の参加が見込まれていたが、尖閣諸島をめぐる日中関係の悪化により、中止。（対外貿易経済委員会）
2012. 12	対外貿易経済委員会・張西建副主任一行が、日本の電子・電機産業、省エネルギー・環境保護産業に関する政策や技術等への理解を深めると同時に、協会との覚書を踏まえて今後の協力体制の強化について意見

	交換を行いたいとの意向を受け来日受け入れ予定だったが、尖閣諸島をめぐる日中関係の悪化により、中止。(対外貿易経済委員会)
2015. 3. 16	対外貿易経済委員会・李謙副主任一行 11 名が来会し、生田専務理事と重慶市の発展政策や、当協会との今後の具体的な協力内容について意見交換を行い、2013 年に《重慶市ロボット産業発展推進の指導意見》が公布されるなど、今後ロボット産業の飛躍的な発展を見込まれるのを受け、午後には（一社）ロボット工業会を往訪。(対外貿易経済委員会)
2019. 5. 29	唐良智市長を団長とした政府や企業関係者でつくる代表団が来日。当協会と共催で「重慶-日本経済交流懇談会」を開催し、日本側は、宗岡正二会長以下 19 人が出席。(商務委員会)

出所：重慶市人民政府網 <https://www.cq.gov.cn/>

重慶市統計局 <http://tjj.cq.gov.cn/>

重慶統計年鑑 2025

在重慶日本国総領事館

[https://www.chongqing.cn.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.chongqing.cn.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

重慶日本商エクラブ

<https://cq-jpclub.com/index>